

元老院
本院
給給
一六一、七六六〇〇〇
一、五、〇〇〇〇〇〇
（以下次號）
海軍一般

○海軍省第六十五號
明治七年（一月）第十三號ヲ以相違候當省印鑑之儀自今
相繼ニ備條印鑑ニ各處ニ於テ取極ノ内局ニ返付可致尤
主船員（馬丁定夫）等内各局用違町人官員從僕等省門出入
監査ノ爲メ更ニ印鑑可相違候條内局ヨリ受取本人共ニ可
渡置此旨相違候事
但印鑑ノ儀（馬丁定夫）ハ何局（馬丁定夫）姓名用違ハ何
局附姓名居住ノ町名番地官員從僕車夫ハソノ主人ノ
官姓名及ヒ（從僕車夫）姓名記載スヘキ事
明治十六年七月十六日
海軍卿川村純義

叙任賞勳

○七月十四日
故正二位 近衛 忠房
特旨ヲ以テ從一位ニ復候事
○七月十六日
參事院議官兼内閣書記官長 井上 毅
叙從四位 從五位勳五等 田中 芳男
叙從六位 正七位 小林 義典
叙從七位 正七位 目賀田種太郎
叙正七位 正八位 大海原 倫義
橋本 義路

時事新報

高買上ノ契約ヲ慎ム
我國ノ海外諸國ト開港貿易スルノ既ニ三十年當初ニ在リ
テハ彼我互ニ相知ラズシテ互ニ相猜疑シ其交際決シテ親
密ナラザルヨリ買賣取引ノ間ニモ相欺キ相害スルノ甚
多カリガ歳月ヲ経過スルニ從ヒ彼此ノ關係次第ニ繁多
トナリ双方ノ感情稍シ融和シテ互ニ自他ノ心意ヲ了解ス
ルニ至リテハ買賣取引ノ趣キモ自然ニ其觀テ改メ復テ
昔日ノ如ク專ラ欺詐騙稱ヲ以テ商賣ノ方便ト爲サザル
至リタルハ彼我ノ幸福コレヨリ大ナルハナシ然レハ我國
各開港場ニ居留スル外國商人ハ元來利益ヲ目的ニ渡來シ
タル人々ニシテ云々ハ傳義上ニハ其感情甚シ薄ク唯利是
圖ルノ人倫タルヲ免カレザル者甚多シ固ヨリ商業ノ
本色コレヲ容ルム足ラズト雖モ我國ノ商人コレテ外國商
人ト取引行フノ輩ハ概シ實地ノ經歷ニ乏ク小康ニ安
ンテ進取ノ勇ナク世界ノ商況ニ暗クシテ當面ノ機變ニ
通セザルガ故ニ動モズレバ外國商人トノ取引上ニ意外ノ
損失ヲ被フルコトナキアラズ是レ我輩ガ切ニ憂慮コト堪ヘ
ザル所ナリ今其損失ヲ致ス所以ヲ尋ズレバ其原因固ヨリ
一ニシテ是ニザレバ就中我國商人ガ外國商人トノ契約ヲ
締結スルノ一事ハ其一大原因タルガ如ク我輩ハ頃日積
漸ニ外國某商會ト我國ノ某商人トノ間ニ物品買賣ノ
約定ヲ爲シ其外國商會ヨリ我國商人ト交付シタル英文約
定書ヲ一見シテ其和譯左ノ如ク

債權トシテ下記ノ商品ヲ書面ノ價ニテ輸入スルコト結
約セリ後何某殿ハ今回右品ヲ買ヒ其代價ヲ書面ノ通
リ仕拂ヒ波止場ニ着荷ノキ重ニ之ヲ引取ルベシ
右荷物到着後三日間ニ引取ラザルキハ何某殿ハ右品ニ
屬スル運賃、倉敷、火災保險料等都合ニ必要ナル諸人費ヲ
支辨シ其上右金額ニ月一分ノ利息ヲ拂フ可シ
此買賣約定ノ手附金トシテ若干弗ナ何某殿ヨリ何某商
會ニ受取リタルコト
此約條ヲ履行セザル罰ニハ何某商會ヨリ何某殿ニ手附
金ヲ返却ス可シ又本文ノ物品ハ海上ノ危險事變ヲ除キ
此約定書ノ日附ヨリ二百日間ニ到着ス可シ
前記ノ價格ニテ賣渡シテ約定セリ然ル上ハ後日如何様ノ
事情アルモ賣渡セリ此方ニ對シ違約ヲ申出ス可アルコト
ズ右品ハ到着次第速ニ引取ル可シ一日ナリハ約定書ニ載
セタル時限ニ後ル、キハ相當ノ費用ヲ拂ヒタル上ニ相當
ノ利子ヲ拂フ可シ但シ此方ノ都合ニ由リ違約ノ沙汰ニ及
ブハ此方ノ勝手タルニ付其節ハ賣渡ヨリ受取リ置キタル
手附金ヲ返却ス可シト云フコトアリ此果シテ何等ノ契
約ヲヤ今依リコ此物品ノ價額若干萬圓ナリトシ手附金
トシテ一萬圓ヲ受取リタルトセバ右ノ外國商會ハ其商
品ヲ本國ヨリ輸入スルニ當リ其價前日ヨリ騰貴スルコト
ラバ直ニ其買主タル日本商人ニ向テ被談ヲ申込ニ先ニ受
取リタル一萬圓ヲ返戻セバ明ニ法律上ノ義務ヲ免カレ買
主ハ之ニ向テ一言ノ不平ヲ陳フルヲ得ズ若シ又其價前日
ヨリ下落スルキハ前約ナリトテ強テ前日ノ價ニテ之ヲ賣
渡サンコト買主ハ右約定書ニ依テ之ヲ拒絕スルノ權利ヲ有
セザルガ故ニ忍テ之ヲ受取ラザルヲ得ズ然レキハ物品ノ
價騰貴スル場合ニハ外國商會ハ低價ニ賣渡スベキ物品ヲ
高價ニテ他人ニ賣ルノ益アルノミナラズ一萬圓ノ手附金
ハ二百日間無利足ニテ使用スルノ利アルヲ以テ二重ニ
其利益ヲ得可シ又其價下落スル場合ニモ前約ノ價ニテ之
ヲ賣ルガ故ニ亦相應ノ利益ヲ得ルヲ失ハズ之ニ反シテ買
主日本商人ハ低價ニ仕入レタル物品ノ騰貴セシ場合ニハ
突然前約ヲ渝テ利益ヲ得ベキ目算ヲ誤ルノミナラズ手
附金トシテ波止場ニ一萬圓ヨリ生スル利子ハ徒ラコト外國
商會ノ運理ヲ肥スノミニシテ一毫モ巴ニ利スル所ナシ又
其價下落スルニ當テハ面アタリ其損失アルヲ知リ乍ラ積
之ヲ受取ラザルヲ得ズ加之右外國商會ト買入ノ約ヲ取結
ビタル以上ハ別ニ他ノ商會ト同品買入レノ約束ヲ爲サザ
ルコト明ナレバ一朝前ノ外國商會ノテメ違約セタルハ
日ニ於テ他ニ低價ナル物品ノ供給ヲ得ルノ道ナク己メテ
得ズ騰貴シタル價ニテ今日更メテ物品ノ仕入ヲ爲シ以テ
其費用ニ應ゼザルヲ得ズ此等ノ損失ヲ合計スレバ買主日

本商人ノ被フル所ノ損害ハ獨リ二重三重ノミニ止マラザ
ル可シ我輩ハ未ダ世上ニ斯ル無法ノ契約アルノ例ヲ聞カ
ザルナリ然レモ我日本帝國ノ橫濱開港場ニ於テ此新例ヲ
世界ニ示シテ其憤慨セザルヲ得ンヤ或ハ此新例ヲシテ
今ヨリ二三十年前我日本人民ガ外國ヲ知ルコト十分ナラザ
ルノ日ニ在ラシメバ猶或ハ寬恕スベキ情狀ナキアラズ
ト雖モ開港以來三十年明治十六年ノ今日今日ニ此珍奇ナ
ル新例ヲ目撃セントハ實ニ我輩ノ豫期セザル所ニシテ
メニ一驚ヲ喫スルモ無理ナラズト信ズルナリ
外國商人ノ不逞ヲ見テコレヲ咎ルノミニテハ未ダ十分ニ
斯ル無法ノ契約ニ關スル情狀ヲ盡シタルモノト云フベカ
ラズ試ニ日本商人ノ貿易ニ從事スル人倫ヲ見ルニ近年ニ
至リテコソ著實老練身元儲カナル商家コレテ此業ヲ營ム
者漸ク輩出スルニ至リタリト雖モ開港ノ當坐ハ勿論夫レ
ヨリ十數年或ハ二十年ノ後ニ至ルマデ日本ノ商人コレヲ買
易ニ從事スル者ト云ハ概シ皆狡猾ニシテ恥知ラズ文
盲無賴ノ姪徒ノ多カリシヲ以テ外國商會等ハ動モズレ
バ其騙術ニ陥レラレ一旦コレヲ覺トルモ遂ニ其損失ヲ
回復スルノ方便ヲ得ザリシ例トシタルガ故ニ外國商人
ノ日本商人ヲ視ルコト外道惡魔モ留ナラズ到底八間ノ違
以テ接スベカラザルモノト決心シタルガ如ク遂ニ我輩ガ
前段ニ譯出シタルガ如キ法外千方ナレ買賣約定ヲ爲セテ
恬然愧ル所ヲ知ラザルニ至リタルナルベシ果シテ然ラハ
斯ル無法ノ契約ノ彼我貿易ノ間ニ行ハルハ其原因外國
商人ノ惡徳ニ在ラズシテ却テ日本商人ノ惡徳ニ在ルモノ
ナリト云ハシモ不可ナキガ如ク好シヤ其原因ハ專ラ一方
コノミ偏在セズ兩者ノ中間ニ存スルモノトスルモ畢竟ス
ルニ商賣上ノ交際ハ單ニ道徳ノミナリテ支配スベキコト
ラズ法律ノ許ス限リハ義理モ人情モ同ク所ニアラザルコ
ト世界古今商賣上ノ習慣ナリトセバ外國商人ガ勝手ノ約定
ヲ爲シテ飽マア己レノ利ヲ營マントスルハ天晴レノ商賣
家ナリト稱スベシ日本商人ガ其無學懶惰ヨリシテ他人ノ
官フガ儘ニ自家ニ大不利ノ約定ヲ爲シテ安閑タルハ官語
道斷アル商家ナリト稱スベキナリ商人アリ家ニ巨萬ノ
財寶ヲ蓄積スルモコレヲ護スルノ法ヲ求メズ盜賊ノ言ニ
從テ門戸ヲ撤去シ晏然眠コ就クノ後夜半盜賊ノ侵入スル
所トナリ翌朝家ヲ改ムレバ山積ノ財寶一空シ始メテ其身
ノ無一物塵主タルヲ知リタルコトアリトセンカ世人ハ盜賊
ノ惡徳ヲ惡ムノ前ニ先ニ商人ノ惡ヲ笑ヒ其不幸ハ自業自
得ナリト評スルナルベシ約定ハ實買ノ證據ナリ然レモ買
主日本商人等ハ此大御ナル約定ヲ爲スニ當リ何カ文字ニ
テ認メタル書付テ外國商人ヨリ受取リ其中ニハ何等ナ
シアルヤ知ラズ又コレヲ知ルコトナラズ其價額ノ數ヲ
ノ後他日行違テ生スルニ及ビテ其損害ハ甚シク

